

赤井金属工業株式会社  
代表取締役（左）、山田町長（右）



## ゴミ集荷箱の寄付

ゴミ集荷箱が7月5日、赤井金属工業株式会社より寄贈されました。  
今後、いただいたゴミ集荷箱6台は、広野町の応急仮設住宅に設置を予定しております。  
大切に使用させていただきます。

## 放射線と健康に関する講演会

放射線と健康に関する講演会が6月17日、公民館大会議室で開催されました。当日は、約100人の参加がありました。  
講演会では、公立大学法人 福島県立医科大学災害医療総合学習センター 副センター長の熊谷敦史先生が放射線による健康への影響やリスクなどについて専門医の立場からわかりやすく説明がありました。  
今後も町としましては、放射線に対する正しい理解と正しい知識を身につけることを目的に、引き続き講演会などを開催していく予定です。

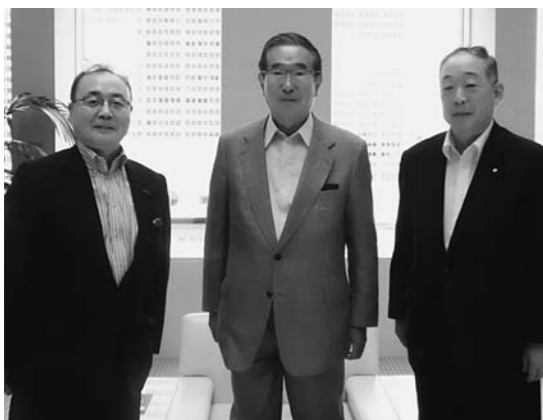


▲講演会の様子

## 石原東京都知事との懇談

広野町長が6月20日、東京都庁で石原東京都知事と懇談を行いました。  
町長は、石原都知事に対して震災以降特別区から保健師を延べ82名派遣していただいたことに対する御礼を申し上げ、引き続き東京都による支援をお願いしました。  
それに対し、石原東京都知事からは、「9月から広野町に3名を派遣させます。積極的に支援します」との力強い言葉をいただきました。

左から財団法人原子力研究バックエンド推進センター 菊池理事長、石原都知事、山田町長



## 仮設住宅へ花を

四倉小学校の児童が6月26日、四倉鬼越応急仮設住宅に花を届けました。  
児童の代表者は、「この花は、四倉小学校の四年生が総合の時間に栽培した花です。この花をみて元気になってください」と話してくれました。  
いただいた花は仮設住宅集会所前で元気に育っています。



花を寄贈する四倉小の児童

お別れ会の様子



## まちの話題

## 中央台南小学校ありがとう

広野小学校のお別れ会が、7月17日、中央台南小学校で開かれました。  
広野町の小中学校は、原発事故のあと、隣のいわき市の学校に間借りして授業をしてきましたが、2学期が始まる来月27日から町の元の校舎に戻って再開します。  
お別れ会では、広野小学校の児童たちが合同で行った運動会の思い出やこれまでの感謝の気持ちを込めたメッセージをひと言ずつ伝えました。

## 光をありがとう

広野小学校と中学校の終業式が7月20日、いわき市の中央台南小と湯本二中で行われました。終業式に臨んだ両校の児童、生徒は受け入れ先の友達との別れを惜しみました。  
広野中は、全校生22人の感謝の気持ちを込め、終業式終了後にお別れ会を開きました。  
生徒の手形と感謝の言葉「光をありがとう」と記した旗を湯本二中に贈りました。  
広野中の生徒代表し、あいさつを述べた遠藤敦也君は、「広野中の生徒として湯本二中に登校できたのがうれしかった。広野に戻っても広野中の伝統を守り続けたい」と心境を話してくれました。



▲中学校お別れ会の様子



▲小学校終業式の様子

## 双葉警察署より感謝状

新妻良平さんと堀江守さんが7月2日、広野駐在所で双葉警察署長より表彰を受けました。  
新妻さんと堀江さんは、震災直後から広野町の治安を守り続けている警察署員に対し、継続的に物資や温かい料理を提供し、警察署員を支援してきました。  
心のこもった支援を受けて双葉警察署長は、「地域住民の優しさに触れて、警察署員としての誇りと責任感を改めて感じる事ができ、初心を思い出させてくれた」と感謝の意を表しました。

左から新妻さん、堀江さん、双葉警察署長



## 雑巾を寄贈

常磐迎応急仮設住宅の有志のみなさんが7月13日、二学期から再開する保育所、幼稚園、小学校、中学校のために雑巾を寄贈しました。  
常磐迎応急仮設住宅の自治会が入居者に対し協力を依頼し、約60名が参加。750枚の復興雑巾が出来上がりました。  
参加した方々は、「一針一針心を込めて縫い上げました。ほんの小さな力ですが、町の復興のために有効に活用していただければと思っています。」と話してくれました。



▲雑巾を寄贈した常磐迎応急仮設住宅の有志のみなさん